

# ◆市民の暮らしを守り、健康で安心できる社会を創造

## 介護 福祉人材不足の解消

介護職員初任者研修費用の補助や外国人介護職員養成研修費用の補助などで人材不足の解消を図ります。また、職場環境改善のための介護口ポット導入に向けた研修を実施します。

予算額 82万円

## 高齢者の活躍を支援する地域づくり

高齢者の居場所づくりや住民団体の移動支援(買い物等の送迎)に必要な貸出車両の整備により、地域が取り組む介護予防や生活支援活動を支援します。

予算額 1,092万円

## 災害時の安定医療

災害時にも安定した医療体制を確保するため、災害時看護職ボランティア募集や医薬品等の備蓄を行います。

予算額 128万円

## 福祉ニーズに応える地域づくり

多様化する福祉ニーズに応えるため、小学校区等の地域で相談等ができる場をつくるモデル事業を実施し、住民が主体的に解決できる体制を整えます。

予算額 709万円

## やさしい日本語で多文化共生

外国人にとって、日本語独特の表現は難しく、やさしい言い回しで伝えることは大切です。やさしい日本語のハンドブックの作成や研修会を実施し、外国人だけでなく子どもや高齢者などにもわかりやすい日本語が話せるようにします。

予算額 21万円

## 北部地域の医療体制確保

中之郷診療所等を湖北病院が運営することで、余呉地区の持続可能な地域医療の維持を図ります。また永原診療所を拠点診療所として西浅井支所へ、塩津診療所を出張診療所として西浅井保健センターへ移転することに伴い、必要な医療機器等を整備します。

予算額 3,238万円

## 保健指導で重症化予防

健診時や健診後、重症化のリスクが高い高血圧などの所見がある人に、管理栄養士や保健師がわかりやすく体への影響を説明します。また、かかりつけ医と連携した保健指導により、腎不全や心不全、脳血管障害等の病気を予防します。

予算額 155万円

## 空き家対策を進めます

管理者がいない特定空き家等(倒壊の危険等がある空き家)に対し、相続財産管理制度を活用し解消を図ります。また、空き家の持ち主が次の活用がしやすいよう、家財処分費用等の助成をします。

予算額 251万円



▲介護人材研修



▲おでかけワゴン



▲日本語ボランティア養成講座



▲保健相談

# ◆都市基盤の整備と北部振興

## 小谷城スマートIC周辺 6次産業化拠点創出事業

「農」をテーマに、バイオ技術や地域力を活用したアグリビジネス拠点づくりを行います。また、新しい農業の担い手の養成や地域伝承野菜を活用した教育と研究活動を実施します。

予算額 1,444万円

## 斎場の整備

斎場が老朽化したため、木尾町に新斎場を整備します。供用開始は平成33年度の予定。この整備は、米原市と共同設置する湖北広域行政事務センターがPFI手法を用いて行います。

予算額 4,745万円

## 中心市街地再整備

中心市街地の中央に位置する元浜町13番街区(曳山博物館西側の街区)内の老朽化した建物を法に基づき解体し、新たな施設工事を行う事業者が費用の一部を支援します。

予算額 2億5,346万円  
※債 13億9,767万円

## (仮称)北部地域総合体育館整備

平成36年開催予定の滋賀国体の柔道競技会場として、また地域のスポーツの拠点として、市民の皆さんが気軽にスポーツを楽しめる総合体育館の建設工事に着手します。

※債 21億7,200万円

## 産業文化交流拠点の整備

図書館やまちづくりセンター、地域福祉支援等の機能を持つ文化福祉施設の整備工事を本格化します。あわせて、産業支援施設の整備も支援し、連携することで互いの機能を高めていきます。

予算額 14億1,212万円  
※債 2億7,856万円

## 消防本部庁舎の整備

現在建設中の工事が完了し、11月から新庁舎での消防業務が始まります。これを安全・安心のシンボルとして、市民の消防防災意識の向上を図ります。

予算額 14億292万円

## 市民まちづくりセンターの整備

北郷里まちづくりセンターの改修工事を完了し、虎姫まちづくりセンターの改修工事に着手します。また、高月、余呉まちづくりセンターの改修に向けた設計を完了します。

予算額 1億9,490万円  
※債 3億8,500万円

## 北部地域の魅力発信

奥琵琶湖や余呉湖などの自然や景観、地域の歴史文化、史跡などの資源を生かした地域住民による北部地域の魅力発信を支援します。

予算額 430万円



▲小谷城スマートIC



▲消防本部庁舎



▲元浜町13番街区完成イメージ



▲菅浦の景観

(※)債：債務負担行為